

平成 31 年度 長唄三味線部の指導方針等について

平成 31 年 4 月 25 日

1 指導体制

顧問 3 名 外部指導員 3 名

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
全国大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
老人福祉施設でボランティア演奏をするなど、年 1 回以上地域交流を図る。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に 3 日間とし、練習時間は、平日 2 時間とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
年 3～5 回、外部での演奏活動やコンクールに参加する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
和の音楽を修得するにあたり、礼儀作法、正しい言葉遣いを意識し、自ら進んでリーダーシップをとる、他の生徒の模範となれるよう心がける。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部員相互の懇親を深め、協力して問題解決にあたるよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 校内演奏会
	5	曲決め・練習
	6	外部指導員による強化練習
	7	強化練習期間 全国総合文化祭佐賀大会（7/25～29 選抜メンバーのみ）
	8	文化祭に向け、出演曲ごとの練習
2 学期	9	文化祭
	10	老人福祉施設訪問・ボランティア演奏
	11	高文連都総合文化祭日本音楽部門中央大会
	12	日本学生長唄連盟演奏会 ジュニアコンクール参加
3 学期	1	お弾き初め（校内演奏会）
	2	基礎練習充実期間
	3	基礎練習充実期間

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。